

指定校番号	31037	学級活動	生徒会活動	○	学校行事	別紙様式2
-------	-------	------	-------	---	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立向東中学校	校長	吉用 和弘	生徒指導主事	奥田 庸介
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『体育大会』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「協働する力」	1	「主体性・積極性」	2	「論理的思考力」	3

取組のねらい

【目指す姿】

○ 競争や協働の経験を通して、健やかな体と豊かな心を育み、仲間と切磋琢磨しながら高め合う集団

【具体例】

○ リーダーの育成【学校・学年・学級】

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『傾聴と共感』
----------	--------------------

【リーダー会の実施】

本校は縦割集団で体育大会を実施する。縦割集団の良さを活かすためには、3年生や各学年リーダーが「ロールモデル」になることが必要である。その重要性などをリーダー会で明確に示す。また、練習計画や練習形態なども、全てリーダー会で決定する。リーダーが責任を持って取り組める組織体制が構築されている。



【カウンセリングマインドを活用した生徒との面談】

○ 体育大会の練習期間中に個人面談等を行っている。その中で、生徒の思い（うれしいことや悩み）を聞き、頑張っていることは誉める。特にリーダーについては、不安な気持ちなどを聞き、アドバイスも行っている。
○ 気になる生徒については、教職員間でも情報共有を行うとともに、保護者連携を行っている。

取組の成果と課題

【アンケート結果（生徒の変容）】

①自分には良いところがあります。
【全国平均値 74.1% 広島県 78.1% (全国学力・学習状況調査 質問紙より)】
【4月実施】 第1学年 78% 第2学年 77% 第3学年 69%
【7月実施】 第1学年 95% 第2学年 86% 第3学年 81%
②先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか。
【全国平均値 81.5% 広島県 82.5% (全国学力・学習状況調査 質問紙より)】
【4月実施】 第1学年 90% 第2学年 80% 第3学年 83%
【7月実施】 第1学年 95% 第2学年 91% 第3学年 96%

○ 来賓からも肯定的評価をいただき、生徒へも還元することにより、自己肯定感が高まった。

○ 生徒主体で行うことにより、達成感（感動）や充実感（自信）を得ることができている。

▼ 体育大会を通して育てた資質・能力を日々の生活でも更に活かしていく。（教職員の共通認識）

▼ 小中連携として何かできないか、という意見が多くでてきている。